

第2節 受療状況

1 性別・年齢階級別受療状況

平成14年2月20日時点で、県内の病院、診療所と石川県南加賀医療圏および京都府中丹医療圏の病院を対象に実施した「福井県患者調査」によると、同日の調査対象医療機関での受療患者数は56,176人であり、県民14.8人に一人の割合で受療したことになります。

これを性別にみると男性が24,464人で16.4人に一人、女性が31,712人で13.5人に一人の割合となっており、受療率は男性よりも女性のほうが高くなっています。

一方、年齢階級別の受療率をみると、15～19歳が最も低く、年齢が高くなるにしたがって受療率も高くなる傾向にあります。

性別・年齢階級別受療率（人口10万対） (人)

年齢階級	全 体	男	女
全 体	6,777	6,080	7,434
0～4歳	5,451	5,471	5,431
5～9	3,614	3,714	3,507
10～14	2,167	2,262	2,068
15～19	2,025	1,839	2,225
20～24	2,306	1,917	2,725
25～29	2,957	2,296	3,635
30～34	3,550	2,820	4,281
35～39	3,196	2,731	3,660
40～44	3,791	3,634	3,950
45～49	3,969	3,664	4,279
50～54	5,866	5,366	6,380
55～59	6,608	6,395	6,816
60～64	9,345	9,231	9,447
65～69	11,750	11,728	11,769
70～74	16,070	15,841	16,263
75～79	19,835	21,533	18,789
80～84	21,392	19,939	19,849
85歳以上	20,985	20,793	21,061

2 施設の種類の別受療状況

平成14年県民健康意識調査の結果においては、体の調子が悪くなった時、最初に行く医療施設について「病院」と答えた人の割合は49.7%と約半数に達しており、平成9年の同調査結果（58.0%）と比較すると、県民の意識としては、かなり減少しています。

しかし、施設の種類の別受療状況をみると、人口10万人当たりの受療率は病院の方が一般診療所よりも高くなっており、全国平均とは逆の傾向になっています。これは、病院への外来患者の集中傾向が高いことを示しており、平成9年調査に比べ、さらに病院での受療傾向が強まっています。

施設の種別別にみた受療率（人口10万対）

（人）

		総 数	病 院	一般診療所	歯科診療所
総 数	福 井 県	6,777	3,688	2,398	644
	全 国	6,566	2,790	2,869	908
	9年調査	6,732	3,430	2,536	766
入 院	福 井 県	1,409	1,289	102	—
	全 国	1,170	1,106	64	—
	9年調査	1,333	1,248	85	—
外 来	福 井 県	5,368	2,399	2,296	644
	全 国	5,396	1,683	2,805	931
	9年調査	5,399	2,182	2,451	766

※全国は平成11年患者調査のデータ、9年調査は前回の平成9年患者調査のデータ

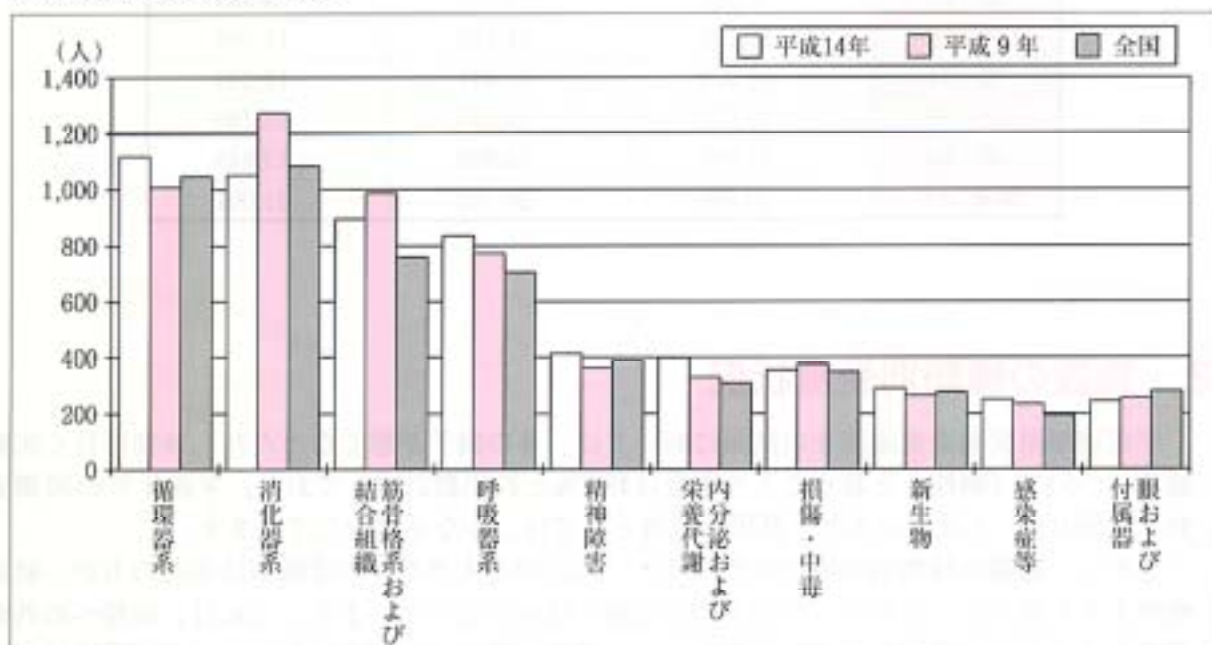
3 傷病分類別受療状況

傷病分類別受療率をみると、平成9年と比べて、循環器系、呼吸器系、精神障害、内分泌及び栄養代謝、新生物、感染症等が高くなっており、その他の疾患については低くなっています。全国に比べて筋骨格系および結合組織や呼吸器系の疾患の受療率が極めて高くなっています。

消化器系、循環器系、筋骨格系および結合組織の疾患について、傷病小分類別にみると、消化器系では胃炎及び十二指腸炎、胃潰瘍、肝硬変、慢性肝炎が、循環器系では本態性高血圧症、脳梗塞が、筋骨格系および結合組織の疾患では脊椎障害、関節症、椎間板障害が多くなっており、全国と同じ傾向です。

一方歯科疾患をみると、歯の補てつ、う蝕症、歯根膜炎が多く、全国と比べ歯の補てつが多い傾向にあります。

主要な傷病大分類別受療率



主な傷病大分類について

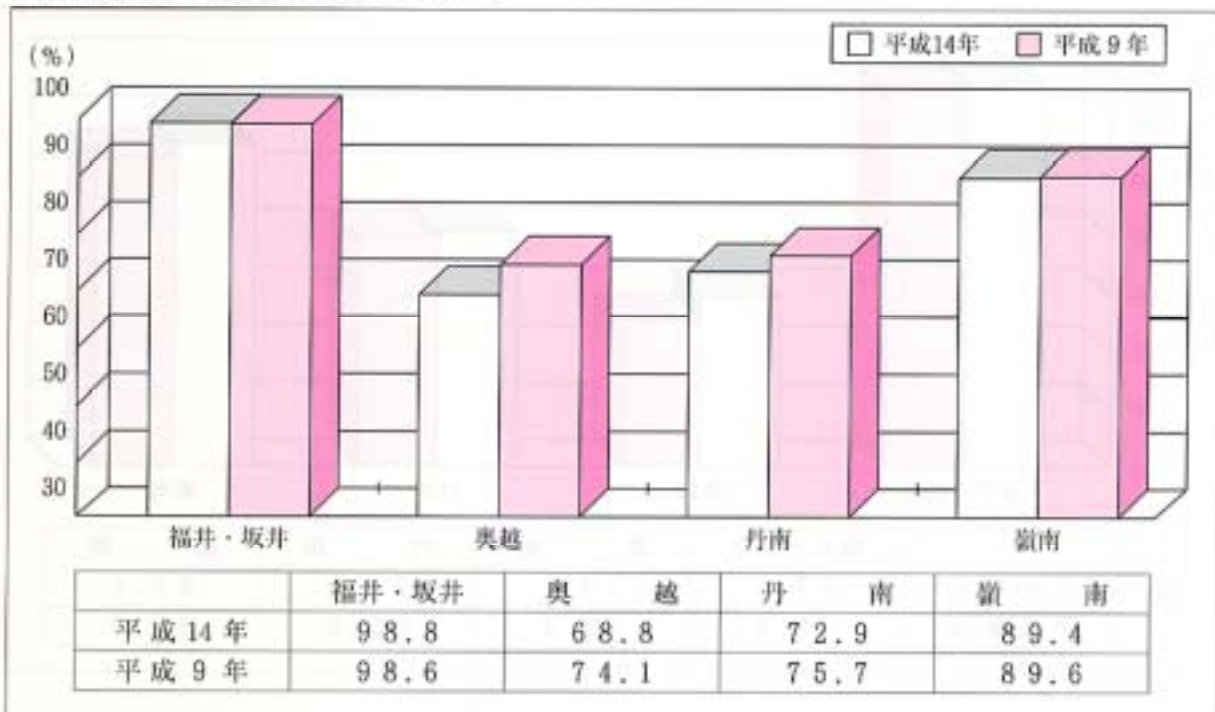
- 循環器系 …… 高血圧性疾患、心疾患、脳梗塞 等
- 消化器系 …… う蝕、歯肉炎、胃潰瘍、十二指腸炎、肝疾患 等
- 筋骨格系および結合組織 …… 脊柱障害、骨の密度および構造の障害 等
- 呼吸器系 …… 肺炎、急性気管支炎、喘息 等
- 精神障害 …… 精神分裂病、気分障害、ストレス関連障害 等
- 内分泌および栄養代謝 …… 甲状腺障害、糖尿病 等
- 損傷・中毒 …… 骨折、捻挫、薬物等による中毒 等
- 新生物 …… 悪性新生物、良性新生物、白血病 等
- 感染症等 …… 腸管感染症、結核 等
- 眼および付属器 …… 結膜炎、白内障、網膜剥離 等

4 地域別受療状況

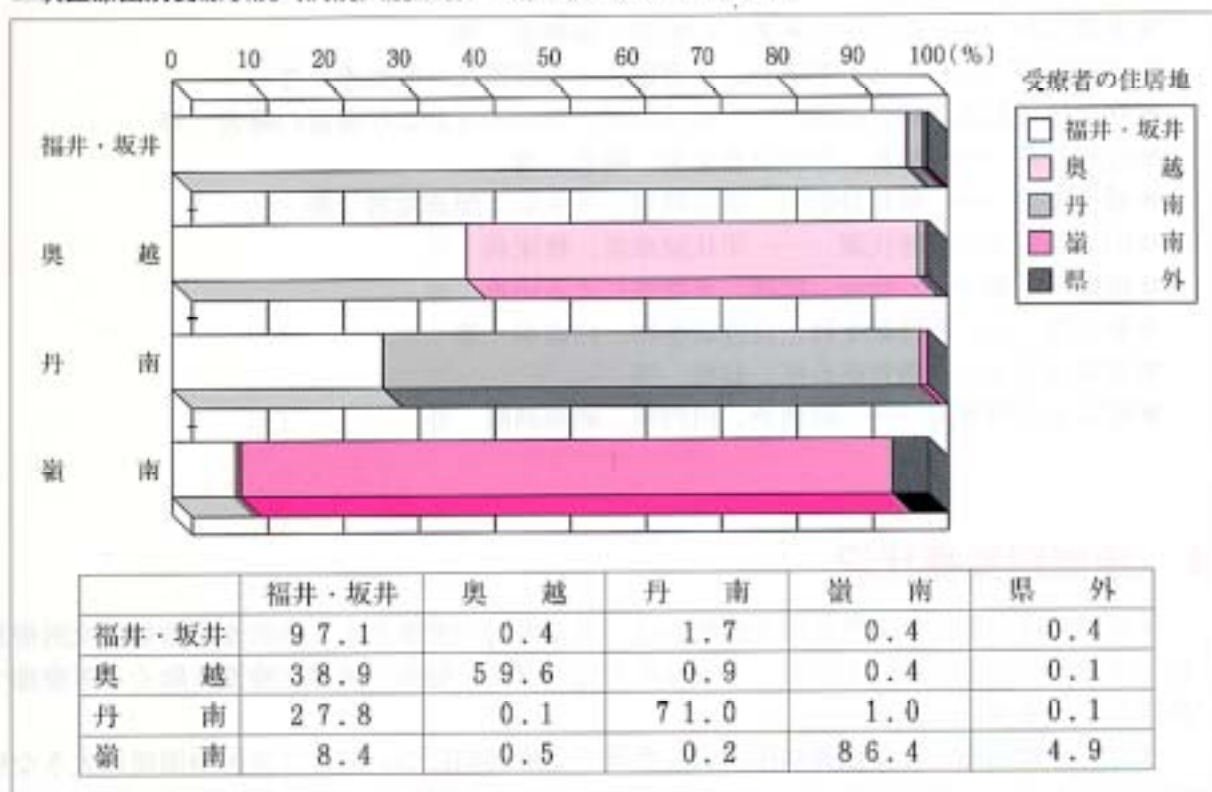
平成14年度の病院外来患者の受療動向は、各市町村の患者とも、住所地を含む二次医療圏内で受療した割合が高いものの、平成9年と比べると、福井・坂井医療圏を除く3医療圏で低下しています。

また、一般病床および療養病床の入院患者の受療動向について、二次医療圏間に大きな格差がありますが、平成9年に比べると、全ての二次医療圏において、住所地を含む二次医療圏内で入院する割合が増えています。

二次医療圏別地元依存率（病院外来患者）



二次医療圏別受療状況（病院入院患者：一般病床および療養病床）



二次医療圏別地元依存率（病院入院患者：一般病床および療養病床）

